

総務文教委員会

令和2年10月26日（月）
13時30分～ 時 分
東分庁舎駐車場・第4委員会室

【委員】 西村委員長、芦谷副委員長
三浦委員、西川委員、上野委員、永見委員、西田委員、牛尾委員

【委員外】

【議長団】

【総務文教委員会 所管管理職】

（教育委員会）石本教育長、河上教育部長、猪木迫教育部参事、草刈教育総務課長、
龍河教育総務課副参事、日ノ原総務企画係長、松山総務企画係専門企画員、
小林総務企画係専門企画員

（消防本部） 琴野消防長、宇津総務課長、森下警防課長、宮崎救急企画係長

【事務局】 下間書記

議 題

- 1 消防施設等整備事業（高規格救急車更新）完了報告について
- 2 公立幼稚園の今後のあり方（案）について
- 3 取組課題「こどもの可能性を育む幼児教育について」（委員のみ）
 - ・現地ヒアリングの結果について
- 4 その他
 - ・委員会広聴機能強化に向けてのお願い（議会広報広聴委員会から）

消防施設等整備事業（高規格救急車更新）完了報告について

1 高規格救急自動車（救急 4 号車）

- (1) 車体 トヨタハイエース ハイメディック
- (2) 仕様 エンジン：ガソリン 排気量 2,693 cc
駆動方式：4WD
乗車定員：8人



2 主な積載品

- (1) 自動体外式除細動器（半自動式）
- (2) 血中酸素飽和測定器・血圧計・心電図
- (3) 気道確保用資機材（喉頭鏡、気管挿管資機材、吸引器など）
- (4) 自動式心マッサージ器
- (5) 輸液用資機材・呼吸管理資機材・固定用資機材など

3 今後の更新予定（令和 2 年 10 月現在）

- (1) 令和 4 年度 高規格 2 号車更新（救急 5 号車）浜田消防署
- (2) 令和 5 年度 高規格 7 号車更新（救急 6 号車）西部消防署弥栄出張所

以上

公立幼稚園の今後のあり方（案）について

1 浜田市立幼稚園の現状について

少子化等に伴い、平成 22 年度には 4 園で 164 名の園児が在籍していたが、令和 2 年度は、3 園で 50 名となっており、全ての園で 4 歳児と 5 歳児あるいは 3 歳児から 5 歳児までの混合学級となっている。

そうした中、令和元年 10 月から幼児教育の無償化が実施され、公立幼稚園の保育料が、私立幼稚園、保育所や認定こども園と比較して、低廉であるという優位性はなくなった。併せて、浜田市立幼稚園の多くは、施設の老朽化が著しく、修理の必要な個所が多く存在するという課題も抱えている。

一方、浜田市立幼稚園の保護者会からは、毎年、「公立幼稚園の存続」の要望を受けている。また、子ども・子育てに関する市民実態調査において、「公立幼稚園」の利用を希望すると回答した方は、平成 25 年度は 17.7%、平成 30 年度は 6.1%と減っているが、未就学児の教育環境の充実を図るため、公立幼稚園の今後のあり方を検討する必要がある。

(1) 幼児（3～5歳児）の就園状況

未就学児数は減少を続けている中、幼稚園及び保育所に就園している園児は減少し、認定こども園に就園している園児は、認定こども園がこの10年間で2園から5園に増えたことに伴い増加している。

【人】 【%】

| 区分 | H22 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | R2 | H22とR2との比較 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 幼児数 (3～5歳) | 1,420 | 1,343 | 1,317 | 1,289 | 1,242 | 1,205 | 1,193 | 84.0 |
| 公立幼稚園 | 164 | 144 | 121 | 97 | 79 | 74 | 50 | 30.5 |
| 原井幼稚園 | 49 | 23 | 14 | 13 | 2 | — | — | — |
| 石見幼稚園 | 48 | 66 | 54 | 42 | 34 | 37 | 25 | 52.1 |
| 長浜幼稚園 | 31 | 33 | 32 | 26 | 27 | 26 | 17 | 54.8 |
| 美川幼稚園 | 36 | 22 | 21 | 16 | 16 | 11 | 8 | 22.2 |
| 私立幼稚園 | 112 | 46 | 50 | 63 | 73 | 58 | 43 | 38.4 |
| 認定こども園の 幼児園部 | 16 | 19 | 20 | 25 | 39 | 44 | 48 | 300.0 |
| 幼 計 | 292 | 209 | 191 | 185 | 191 | 176 | 141 | 48.3 |
| 保育所 | 970 | 946 | 947 | 868 | 769 | 759 | 709 | 73.1 |
| 認定こども園の 保育園部 | 105 | 137 | 132 | 185 | 250 | 247 | 316 | 301.0 |
| 保 計 | 1,075 | 1,083 | 1,079 | 1,053 | 1,019 | 1,006 | 1,025 | 95.3 |

資料：教育総務課・子育て支援課（各年4月1日現在）

入所（園）施設は、市内の事業所内保育所（認可外）を除き、市外の施設を含む

(2) 浜田市の施設未利用児

浜田市の場合、3歳以上児の99.2%は施設を利用しているため、在宅児の影響は少なく、新たに子どもを預ける場合にどの施設を選ぶかがポイントとなる。

| 区分 | 総人数(1,189人) | うち施設未利用児 |
|-----|-------------|----------|
| 3歳児 | 396人 | 8人 |
| 4歳児 | 393人 | 0人 |
| 5歳児 | 400人 | 1人 |

資料：子育て支援課
(令和2年4月1日現在)

(3) 施設・職員配置等の状況 (令和2年5月1日現在)

| 区分 | 石見幼稚園 | 長浜幼稚園 | 美川幼稚園 | 原井幼稚園 |
|---------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 保育棟建築年月 | 昭和47年2月 | 昭和59年3月 | 昭和61年2月 | 昭和40年3月 |
| 保育棟保有面積 | 855 m ² | 851 m ² | 421 m ² | 791 m ² |
| 保育棟階数 | 1階 | 2階 | 1階 | 1階 |
| 保育棟構造 | 木造 | 鉄筋 コンクリート造 | 鉄骨その他造 | 木造 |
| 敷地面積 | 3,346 m ² | 3,113 m ² | 1,861 m ² | 2,364 m ² |

| 区分 | 石見幼稚園 | 長浜幼稚園 | 美川幼稚園 | 合計 | 備考 |
|--------|---------|-------|-------|-----|----|
| 3歳児 | 1名 | 4名 | 1名 | 6名 | |
| 4歳児 | 16名 | 6名 | 3名 | 25名 | |
| 5歳児 | 7名 | 7名 | 4名 | 18名 | |
| 特別支援教室 | 1名(5歳児) | - | - | 1名 | |
| 合計 | 25名 | 17名 | 8名 | 50名 | |

*混合学級編成基準 4、5歳児の合計園児数が25名以下の場合
3～5歳児の合計園児数が10名以下の場合

| 区分 | 石見幼稚園 | 長浜幼稚園 | 美川幼稚園 | 合計 |
|----------|-----------------|-------|-------|-----|
| 園長 | 1名 | 1名 | 1名 | 3名 |
| 教頭 | 1名 | 1名 | 1名 | 3名 |
| 教諭 | 3名 (うち1名産育休) | 2名 | 1名 | 6名 |
| *産育休代替教諭 | 1名 | - | - | 1名 |
| *サポート教諭 | 1名 | 2名 | 1名 | 4名 |
| *用務員 | 1名 | 1名 | 1名 | 3名 |
| 合計 | 8名 | 7名 | 5名 | 20名 |

*会計年度任用職員

2 浜田市立幼稚園の役割

現在、幼児を取り巻く状況が急速に変化する中、平成 30 年 4 月に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が一斉に改正・施行となり、幼稚園、保育所及び認定こども園は、幼児教育を行う施設として、育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有することとなった。

また、各小学校においては、各幼稚園、保育所、認定こども園と情報を共有し、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を理解した上で、幼小接続の具体的な取組を進めていくことが求められている。

島根県においては、平成 30 年 4 月に島根県幼児教育センターを開設し、幼児教育施設の教育力向上や幼小接続への支援体制の強化を図っているが、令和 4 年度からは規模を縮小し、各市町村にその役割を継承する方向性が示されたところである。

上記のことを念頭に置きながら、浜田市立幼稚園では、市内の幼児教育の基幹施設として、次に掲げる役割を担うとともに、取り組みを進めていく。

幼児教育における教育力向上機関としての役割

- (1) 幼児教育の研究と実践
- (2) 幼児教育センターとしての機能 ※
- (3) 特別な配慮を必要とする幼児のための教育の充実(特別支援教室に加えて、通級指導教室の設置)

※研究成果の普及、市の教育方針の周知、幼小の接続支援などについて、幼児教育施設への個別訪問を主体として実施する拠点機能

3 浜田市の公立幼稚園のめざす方向性について

浜田市立幼稚園では、現在、園児数が著しい減少傾向にあるが、これまで培われてきた教育課程の実践を継続するためには一定規模の園児数が必要である。

公立幼稚園の役割を踏まえながら、一方、運営の効率化を図り、浜田市全体の幼児教育を充実させることが求められている。

現在、行財政改革実施計画が立てられており、公立幼稚園の役割を維持するためにも総合的に勘案し、統合すべきと考える。

【行財政改革実施計画】

「地域性や施設、職員体制等を踏まえ、新たな統合幼稚園の建設、あり方を検討し、幼稚園を統合する」



*令和 2 年度の方針

公立幼稚園 4 園の今後のあり方について、令和 3 年度の園児募集を行う前に方向性を出すよう検討を進める。

4 公立幼稚園統合の方針について

幼児教育の研究と実践のためには、一定規模の園児数が必要であり、かつ、年齢に応じたクラス分けが必須であると考えられる。このため、浜田市立幼稚園は1園に統合し、幼児教育の基幹施設としての機能を集約する。

統合幼稚園は、「浜田幼稚園」等新たな名称とし、統合園の教育課程は、すべての公立幼稚園の特色や伝統を踏まえた上で、新たな時代に対応する内容とする。また、特別な配慮を要する幼児のための教育の研究と実践にも重点を置き、特別支援教室に加えて、通級指導教室も設置し、幅広く支援を行うことが可能な施設とし、当面の間、長浜幼稚園の園舎を使用する。

なお、統合幼稚園舎の新設については、従来からの懸案事項であるが、保護者からの要望の高い預かり保育等の新たな保育サービスを行いながら園児数の動向を見極めるとともに、建設場所などを今後決定することとする。

長浜幼稚園舎を使用するメリット

- ・浜田市全域の中心に位置する。
- ・施設の規模、耐震性及び耐久性、安全性の観点から、他の3施設と比較すると最も適切である。
- ・浜田市のふるさと郷育の特色の一つである海洋教育を充実させることができる。

統合スケジュール ◎統合年月日：令和5年4月1日（予定）

| 園名 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|--------------------|--------------------|-------------------------------------|---|
| 長浜幼稚園 | 統合計画を付して令和3年度の園児募集 | 統合計画を付して令和4年度の園児募集 | 年度末閉園 ※在園児は令和5年度から「浜田幼稚園」(仮称)へ転園 | 4園を統合し、統合幼稚園「浜田幼稚園」(仮称)1園とする。園舎は現在の長浜幼稚園の園舎を使用する。 |
| 石見幼稚園 | | | | |
| 美川幼稚園 | | | | |
| 原井幼稚園 | 休園 | | | |

5 新たに実施を予定している保育サービスについて

- (1) 預かり保育（幼稚園の延長保育）
- (2) 幼児のための「通級指導教室」
- (3) 給食

※なお、統合により通園が困難となる在園児については、別途対応を検討する。